



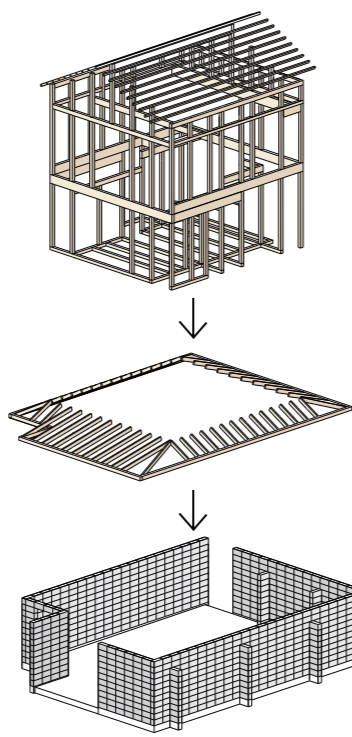
ブロック塀とNLT

主要用途: 専用住宅 建設地: 大阪府柏原市 主構造形式: 木造軸組み工法
敷地面積: 124.32 m² 建築面積: 64.34 m² 延床面積: 96.64 m²

近年の建築ムーヴメントは、主に外部(街・自然)に対し建物を積極的に開く方向で考察を深めてきた。

地域への積極的開放は、同時に住み手の内面性を晒すため、その試みには公共に帰属しつつ独立した個の意識が欠かせない。開発が進行中の郊外に建つこの小住宅では、周囲にどう開くかではなく、**いかに閉じるか**に着目した。

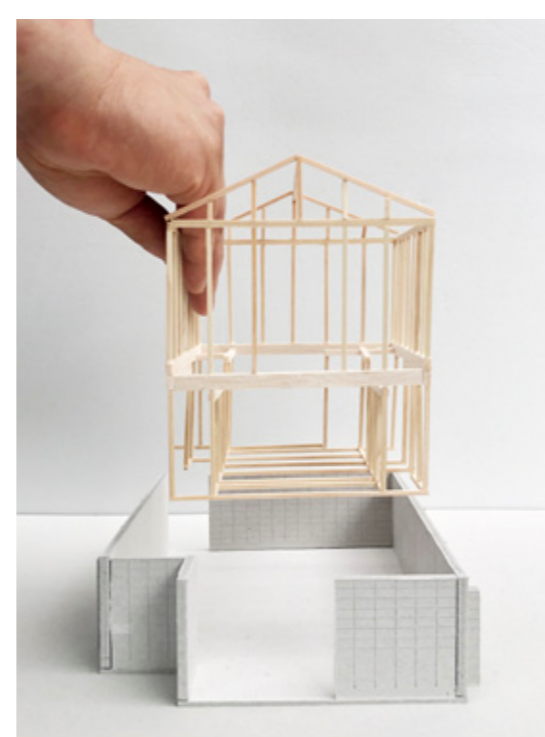
周囲との距離感を重厚な外壁で作し、**確る安心感**を確保する。材料に用いたコンクリートブロックは、見慣れた塀として街に溶け込む一方、室内から見れば**街のエレメント**として**“中にとつての外”**になる。入れ子状にした木軸は住まいの中心となり、犬走りであった塀との隙間に生活の用途が生まれる。木部の床に用いた**NLT**は軽く薄く空間を繋げ、視線を開放してインテリアに拡がりを持たせる。ブロックと木軸による新たな**“中と外”**との関係が穏やかな暮らしを形成していくのだ。



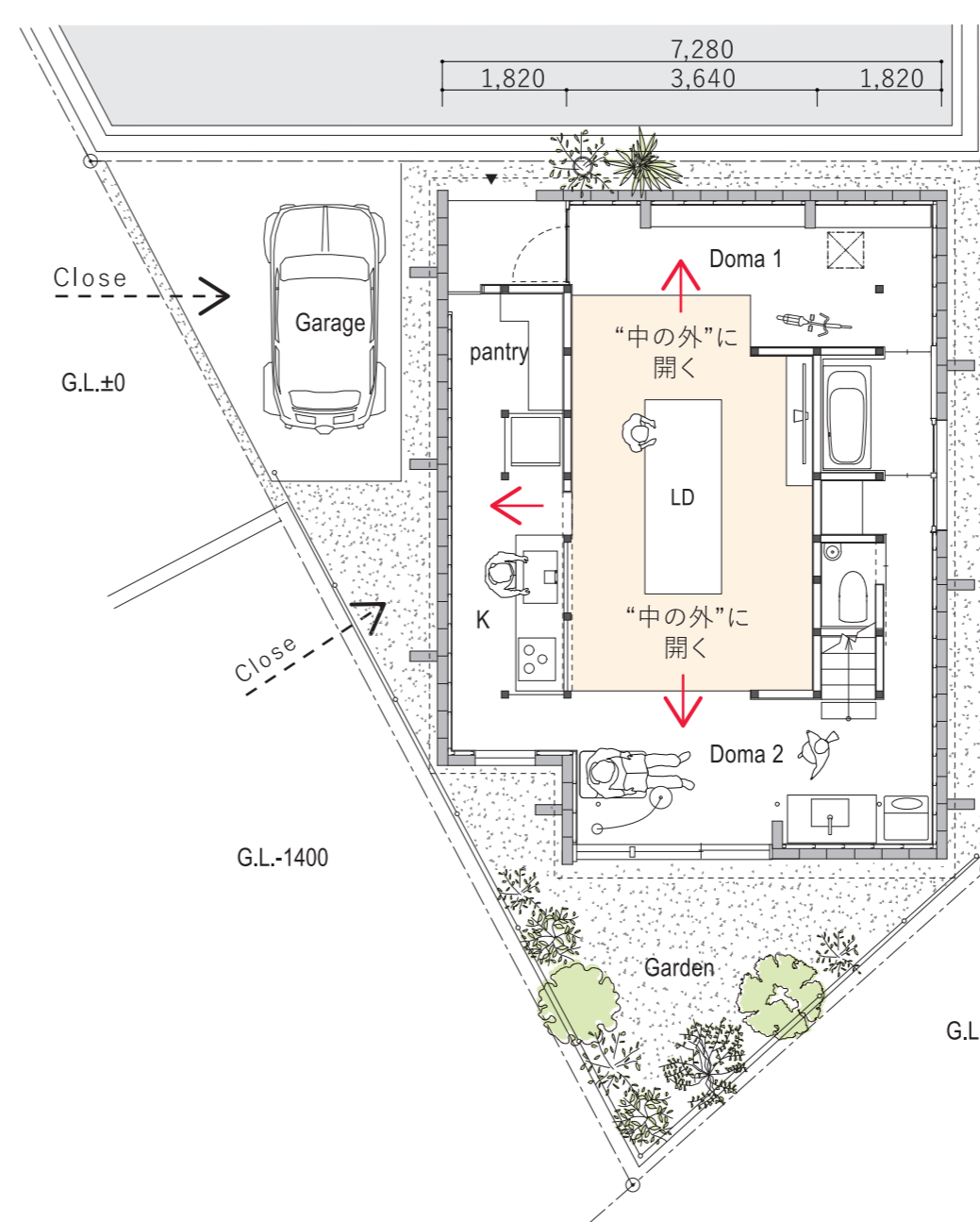
“中の中”
住まいの中心となる
入れ子構造の木軸

“中の外”
犬走りを内部空間に
取り込む**新たな用途**が
生まれる

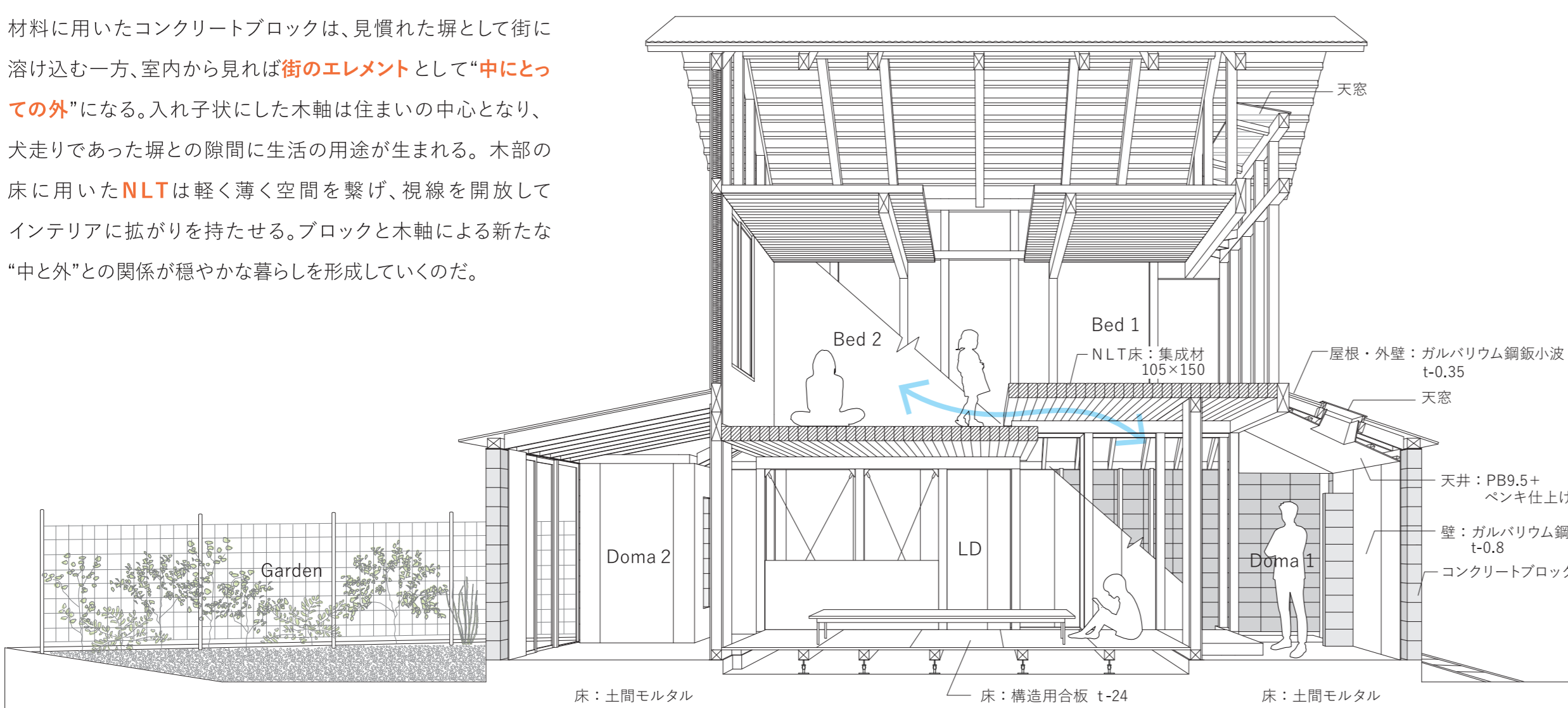
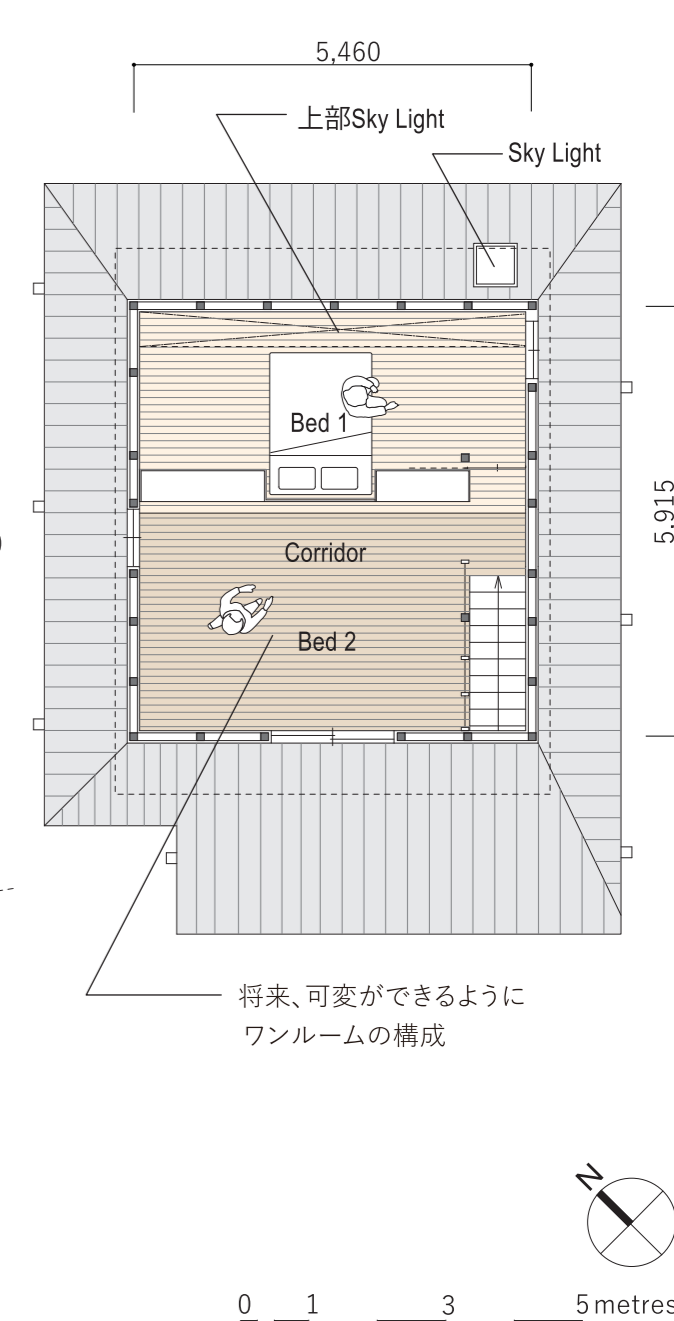
“ブロック塀”
重厚感が生む
確る安心感
ありふれた
街のエレメント



1階平面図



2階平面図



NLT (Nail-Laminated Timber)の床構造による無柱空間

釘やホネジでパネル状に組む木の積層材。ここでは製材を薄くイカダ状に並べて床とした。段差のある薄いスラブが化粧となり、**インテリアに開放性と連続性**を生むよう意図している。

